

主な活動内容

市民講座

毎年2~3回程度、県内外の専門家の方を講師としてお招きし、原子力政策、核燃料サイクル、再生可能エネルギーなどについて学ぶ市民向けの講座を開催しています。最近では、池内了氏（名古屋大学名誉教授）、隈元信一氏（元朝日新聞記者）、吉澤正巳氏（希望の牧場・ふくしま代表）や、地元弘前大学の教員による講座が開かれています。



金曜日行動

毎月第4金曜日に、全国の反原発運動と連帯して、原発ゼロと核燃料サイクル撤退を求めて、弘前市内で街宣活動を行っています。



定期総会

毎年6月に核燃・だまっちゃおられん津軽の会の総会を行っています。あわせて記念講演やワークショップなどを行っています。



さようなら原発・核燃 3.11 弘前集会

毎年3月11日近くの休日に、福島第一原発事故を思い返し、福島の復興と原発の問題を考えるために、講演会や上映会を行っています。



~核燃・だまっちゃおられん津軽の会とは~

核燃・だまっちゃおられん津軽の会は、青森県内で、原発と核燃料サイクルをめぐる問題について学び、考える人たちの集まりです。六ヶ所再処理工場の本格稼働の中止、原子力政策の見直し、再生可能エネルギーへの転換を求めて、2008年2月に設立されました。以来、10年余りにわたって、原子力政策、核燃料サイクル、再生可能エネルギーなどについて学ぶ「市民講座」の開催、全国の反原発運動と連帯した「金曜日行動」の実施、自治体や事業者への公開質問状などによる働きかけ、下北半島原子力施設視察ツアー、全国集会への参加、福島への実地見学など、さまざまな活動を行っています。2016年からは、「さようなら原発・核燃 3.11 弘前集会」を主催しています。

会員募集中！！

核燃・だまっちゃおられん津軽の会は、現在、13の団体会員と約100人の個人会員から構成されています。原子力政策、核燃料サイクル、再生可能エネルギーの問題に関心のある方なら、どなたでも入会することができます。私たちと一緒に青森県の未来について考えてみませんか？

代表挨拶

阿部 東

2018年7月3日政府は第5次エネルギー基本計画を閣議決定しました。原発を従来通り「重要なベースロード電源」と位置づけ、原発・核燃サイクルを推進するものです。福島原発事故後、稼働がゼロだった原発ですが今9基を稼働させています。また、県内の原子力関連市町村や県は原子力事業の早期推進を求めています。7月4日には大飯原発の運転差し止め判決が控訴審で取り消され、9月25日には伊方原発の運転差し止め仮処分決定が取り消され、11月7日には東海第二原発の運転期間40年を超える再稼働が原子力規制委員会で認可されました。これで脱原発の闘いは、政府、企業の他に司法も加わった敵(!)との闘いとなりました。種々の世論調査の結果では、脱原発の人々が推進の人より多いと報道されています。しかし、このままではなしくずしに原発が再稼働してしまうことを心配しています。じっとしておられません。少なくとも毎月行われる金曜日行動には、欠かさず街頭に立つ決意をあらたにしました。

入会のお申込み

核燃・だまっちゃおられん津軽の会への入会を希望される方は、ご氏名、ご住所、連絡先(電話番号またはメールアドレス)を添えて、郵送、お電話、メールのいずれかで、下記事務局までお申し込み下さい。

入会された方には、核燃・だまっちゃおられん津軽の会が主催する各種イベントへのご参加をご案内します。年会費は、団体会員3000円、個人会員1000円です。

事務局

宮永崇史(弘前大学)

〒036-8560 青森県弘前市文京町3

弘前大学理工学部

TEL: 0172-39-3551

E-mail: takaf@hirosaki-u.ac.jp

ホームページ

「核燃・だまっちゃおられん津軽の会」

<https://damattyajimdo.com>

※核燃・だまっちゃおられん津軽の会について、より詳しい情報をお知りになりたい方は、上記ホームページをご覧ください。

核燃・だまっちゃおられん

津軽の会

〽入会のご案内〽

